

第2回ぐんま天文台教育普及研究会

ぐんま天文台は1999年のオープン以来、天文学の研究と教育普及の両面においてさまざまな活動を行っています。それらの中から、2002年の8月26日(月)、27日(火)に開催された第2回ぐんま天文台教育普及研究会について、その内容を紹介します。

この研究会は、2002年2月に行われた第1回ぐんま天文台教育普及研究会に続くものです。今回は、「天文学に関する教育教材」をテーマとして、その開発や使用状況について情報を交換するとともに、教材の実物に触れてその使用法や改良点を検討し、将来につなげていくことを目的として行われました。研究会には、関東地方を中心に全国から45名の参加がありました。その顔ぶれはさまざまで、大学・研究所等のスタッフや学生、群馬

県内外の小中学校・高校の教員をはじめ、科学館等のスタッフやぐんま天文台ボランティアなど幅広いものでした。このように、いろいろな背景を持った人々が一堂に会し、普段なかなかできない交流を持てたこともこの研究会の成果のひとつといえるでしょう。

研究会では、口頭8件、ポスター4件の発表がありました。研究会のプログラムは以下のとおりです。

8月26日(月)

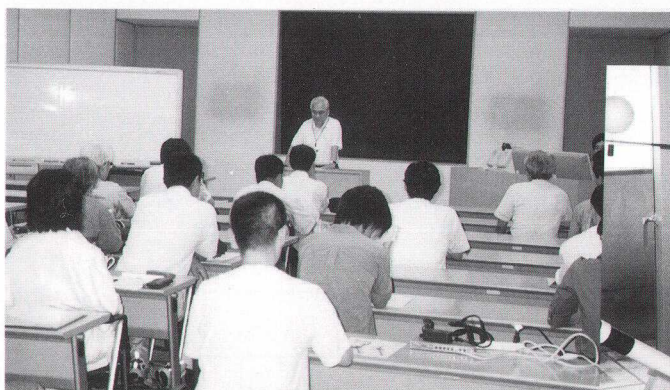
口頭発表(1階映像ホール)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 大林 均(ぐんま天文台) | 「望遠鏡のしくみ体験模型」 |
| 2. 中嶋浩一(一橋大学) | 「小学生を対象とした、望遠鏡の工作」 |
| 3. 岡村典夫(茨城県立水戸第二高等学校) | 「天頂を楽に観察できる双眼鏡架台」 |
| 4. 上原 隼(東京学芸大学) | 「Digitized Sky Survey を利用した『暗黒星雲博物館』」 |
| 5. 衣笠健三(ぐんま天文台) | 「宇宙スペクトル博物館の紹介」 |
| 6. 林 満(国立天文台) | 「4次元デジタル宇宙データの構築とその応用
(すばるデータ、シミュレーションデータの仮想現実空間への再構築)」 |
| 7. 岡崎 彰(群馬大学) | 「LASCO のデータと太陽の年周運動の学習」 |
| 8. 倉林 勉(ぐんま天文台) | 「ぐんま天文台教材・教具作成教室ーホームページ編ー」 |

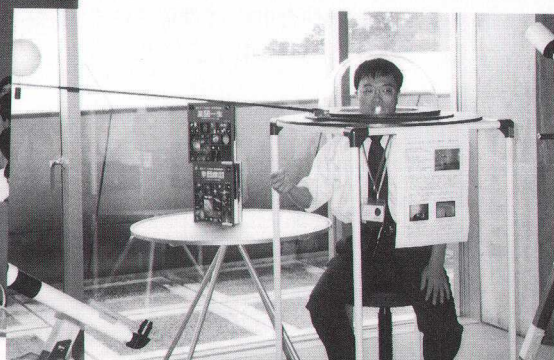
8月27日(火)

ポスターセッション(教材・教具の展示・演示)

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 土橋一仁(東京学芸大学) | 「インターネットを活用した「暗黒星雲博物館」の作成」 |
| 2. 松元亮治(千葉大学) | 「宇宙シミュレーションのバーチャルラボラトリー」 |
| 3. 阪本成一(国立天文台) | 「望遠鏡のペーパークラフト」 |
| 4. ぐんま天文台 | 各種教材・教具「簡易分光器」「実像みえーる」「満ち欠け君」part 1 & 2等 |



研究会冒頭で挨拶する古在由秀ぐんま天文台長



展示された天文教育教材（ぐんま天文台・満ち欠け君）

研究会の第1日では口頭発表が行われました。発表された教材の対象は小学生から大学生や大人までさまざま、工作をするもの、ホームページ等をはじめとするデジタル素材など多岐に及び、それぞれの作成法や使用



参加者全体写真

法・効果等が紹介され、質問や議論が活発に行われ盛り上がりました。ただ残念だったのは、多くの質問や議論で時間が経過してしまった結果、最後に行うはずだった総合議論の時間がほとんどとれなくなったことです。しかし、その後の懇親会でもあちこちで議論が継続されていたようです。

第2日にはポスターと実際の教材・教具を展示・演示して、各々のポスター・教材の簡単な紹介の後、実際に参加者が使用したり、工作を行いました。この日は天文台の開館日だったため、一般の来館者もいて、研究会参加者とともに展示されたポスターや教材を興味深そうに見る風景が見られました。また、たまたまその日に来館した子供達の団体は、研究会参加者とともに、比較的短時間で簡単にできる回折フィルムとボール紙

で作る簡易分光器の工作を一緒に行ったりしました。その他にも偶然その日に来館した人が、望遠鏡のペーパークラフトや簡易望遠鏡製作キット等をお土産

に持って、嬉しそうに帰っていく姿も見かけられました。

2日目には、ぐんま天文台に滞在していた海老沢研氏（INTEGRAL Science Data Center, ジュネーブ）による談話会「Chandra 衛星による銀河面のディープサベイ」も行われました。また、日頃は見られない天文台の舞台裏を見る「ぐんま天文台テクノツアー」も行い、建設当時のエピソードの披露など、参加者にも楽しんでもらえたようです。

ぐんま天文台教育普及研究会は、今後も継続的に行っていくことになっており、テーマは未定ですが、来年度も開催する予定です。今回参加できなかった皆さんも、もし関心をお持ちになればぜひ、来年度ご参加ください。

濤崎智佳（県立ぐんま天文台）